



吉原 美智恵 議員

さらなる観光戦略は？

町長

いっそうの連携強化をはかる

【吉原】本町の観光戦略は「大山恵みの里づくり計画」の実現をはかることである。

その理念は、自然、歴史などの資源の価値を高め、農林水産業との連携を深め、町全体の活性化をめざすものである。

その検証と今後の戦略は。

【町長】大山観光局の設立・旅行業登録・スキー場再生・各種イベントの魅力向上など一定の成果を残してきた。しかし、さまざま

資源、歴史文化を活かすツーリズムや商品開発、起業など不十分なところもある。

大山観光局を中心として、本町の魅力まるごと体験的な観光の向かうべき姿を打ち出していく。

【吉原】これまでさまざまな全国大会が開催され、多くの人が来町したが町の活性化にながったか疑問である。今後の体制強化は。

【町長】いっそうの連携強化をはかる。



観光をさらに輝かせて

敬老事業の周知と理解は？

町長

説明を継続する

を聞く余裕もない。

せめて自主組織単位として、行政が手助けをし、老人会の意見を聞き、移行したほうが

事業のバラツキもなく公平ではないか。

【町長】集落への説明会を継続し周知する。

【町長】町主催の敬老会は今年度限りとし、来年度からは敬老事業として集落や地域自主組織に交付金を交付する。

今年の初区長会で事業移行を説明し、要望のあった32集落へ出向いて説明をしている。

【吉原】多くの区長は急な事業移行にとまどい、忙しい勤務のかたわら今の業務で手一杯であり、対象者の意向



最後の敬老会を笑顔で締めくくり